

# 事務局便り No.8

2021(令和3)年 8月30日

Email: [sapporoshisatooyakai@gmail.com](mailto:sapporoshisatooyakai@gmail.com)

URL: <https://sa10oyakai.com/>

NPO 法人札幌市里親会事務局 10:00~16:00  
札幌市中央区北7条西26丁目1番1号  
札幌市児童福祉総合センター内 1階 面談室1  
電話 011-622-8614(直通) FAX011-622-8701(児相  
受信) 携帯電話 070-1305-7917(事務局)

..... 子どもに安心・安全を .....

## 「里親フェスタ」に伴う里子の作品募集について

7月の事務局だよりに記載しましたが、10月2日(土)に札幌駅前通地下歩行空間「チ・カ・ホ」で開催する「里親フェスタ」において展示する里子の作品を募集しています。夏休みの自由研究なども含め日常の中で子どもが作った作品をご提供いただくと助かります。名前は匿名として、年齢・性別のみ表記します。なお、新型コロナウイルス感染状況により中止になることがありますので、その場合は作品を返却させていただきます。

## 「札幌市里親促進フォーラム」開催について

昨年度は新型コロナウイルスの感染防止の観点から中止となった「札幌市里親促進フォーラム」ですが、今年度も未だ感染が収まらないため、完全オンライン(Zoom/ウェビナー)で10月27日(水)10:00~12:30に開催することとなりました。視聴希望の方は、機関紙「ぽぷら」に申込書(チラシの裏面)が入っていますので、FAX 又はメール等でお申し込みください。申込者には後日 URL 等(ミーティング ID・パスワード含む)をメール送信します。

## 赤い羽根街頭募金への参加協力をお願い

10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が開始されます。例年どおり当会も今年は10月6日(水)11:00~12:30に(日程は札幌市共同募金会で現在調整中なので変更する場合があります。)、街頭募金に参加することになりましたので、ご協力いただける方は事務局へご連絡ください。(※今年度は札幌市共同募金会様から助成金25万円(使途:札幌市里親促進フォーラム及び機関紙ぽぷらの発行)をいただいています。また北海道共同募金会様からは例年、歳末たすけあい運動で委託児童一人当たり3千円の助成金(使途:お年玉)をいただいています。)

## 会員情報 ※加筆をお願いします

転居:井上スティーブンユウジ・未来 西区→手稲区 2021年6月  
高木奈々 西区内で転居 2021年8月 中澤卓司 豊平区内で転居 2021年7月  
富樫裕二・和佳 北区内で転居 2021年8月  
入会:竹内 有美(たけのうち ゆみ) 中央区 電話:600-3613(FAX 同左) 養育

## 会費・運営協力金の納入のお願い

2021(令和3)年度の年会費(6,000円)の納入をお願いします。2021年前期(1~6月)の運営協力金の納入もお願いします。また、2020年後期(7~12月)の運営協力金の未納の方は、早急に納入をお願いします。振込みの場合は下記の口座をご利用下さい。現金納入希望の場合は事務局にお持ち下さい。

### 【ゆうちょ銀行総合口座】

記号 19030  
番号 57285601  
口座名 トクヒ)サッポロシサトオヤカイ

### 【北洋銀行】

支店 北五条通支店(キタゴジョウドオリ)  
口座番号 普通預金 3362691  
口座名 トクヒ)サッポロシサトオヤカイ

## 1. 前回理事会議事録の承認について

前回理事会開催日	2021(令和3)年7月15日	了承する。
議事録署名人	上原美佳理事、福場智子理事	了承する。

## 2. 報告・連絡

### (1) 児童相談所

<山本里親担当> ※遅れての出席のため、閲読にて報告に替える。

① 里親委託登録数等／2021（令和3）年7月末現在							
里親登録数	296組	新規委託数	2人	委託解除数	6人	委託家庭数	132組
委託児童数	239人	養育	140人（管外7人）	養縁	5人（管外0人）		
専門	12人（管外0人）	親族	12人（管外1人）	FH	70人（管外4人）		

<赤倉係長> ※欠席のため、閲読にて報告に替える。

① 2021(令和3)年 北海道里親研修大会・全国里親会北海道地区里親研修大会について 教育文化会館の参加申込数：2名(事務局、他) 個人の参加申込数：里親15家庭、SW2名
② ファミリーホームの運営について（確認） 自営型の形態の中に夫婦で行う場合のほか、単身で行う場合もある。(養育者専業+補助者2名)
③ 障害児の里親等委託の推進について（障害児里親等委託推進モデル事業） 2022年度にフォスタリング事業として障害児施設等と連携して、障害のある里子を養育している里親を支援する事業を検討している。そのため今年度後半に試験的な取り組みを予定している。

(2) 担当役員（受託事業・研修、他）

①おしゃべり会	8月2日(月)	参加者25名（大人11名、子ども3名、児相2名、SW6名、フォスリング機関3名） ・近況報告（家庭復帰、夏休み期間の過ごし方、デイベース通所、里子とのお別れ、実親との交流 など） ・自立した子どもの先行きへの心配
②ぼぷら会	8月5日(木)	参加者6名（大人2名、SW2名、児相1名、フォスリング機関1名） ※担当役員欠席のため次回に報告する。
③スマイル会	8月17日(火)	参加者7名（大人5名、SW1名、その他1名） 北海道ファミリーホーム協議会の長谷川会長をお招きして、札幌市児童相談所に提出する要望書の説明をいただき、質疑応答を行った。 ・ファミリーホームにおける養育支援体制の強化について など計6項目
④すみれ会	8月26日(木)	参加者8名（大人5名、SW2名、子ども1名） ・近況報告 ・仕事に復帰する時に保育園への説明 ・保育園のママ友への説明 ・真実告知 など

(3) 事務局

①現預金残高 2,586,273円 7月末現在（別途：特定資産(預金) 6,984,516円）
②事務局会議 8月6日(木) 理事長、副理事長(1名)、事務局長、事務局員、児相2名 計6名
③理事会 8月19日(木) 役員9名、児相1名、里親SW5名 計15名
④メンター訪問 7月0件
⑤第66回全国里親大会福岡市大会・九州地区里親研修福岡市大会 個人での参加申込数：0名(8月6日現在)／当会事務局は申込みをおこなう。
⑥機関紙「ぼぷら」8月号の発行準備状況について 8月の事務局だよりと同封するため校正作業中である。
⑦里親養育相互援助事業（サロン活動等）について 予算が使われていないので、各サロンで企画を立ててほしい。
⑧ワーキンググループからの報告 相談訪問支援WGからの報告（別紙報告書2参照） ・5月18日オブザーバーにメンターの7名（個別に1名）を迎えて、メンターの意見をじかに伺った。総括的に報告すると、WG方針の(1)若年メンター増員 (2)地区割を廃止し受託児の個々の状況に応じた派遣については了解 (3)メンター事業主体を里親会に戻すことは、方向として賛成。しかし、メンターの中にまとめ役を立てることには不賛成。(4)里親が里親の相談を受ける体制整備については必要と考え賛成であるが、それぞれ多忙であり相談を受ける要員とはなれない、とのことであった。 ・7月15日相談訪問支援WG会議において、次のことを決定。 (1) 現在のメンター事業はそのまま継続を願う。WGとしては、里親会が同種の別事業を立てる方向での模索を行う。 (2) 里親が里親の相談を受ける体制整備については、喫緊の課題であるため、まずは当WGが相談の受け手を務めて、体制整備に向けての試験的実施を行い、この実践を通して課題を抽出した上で、里親会事業として本格実施するための提案を理事会に行う。 (3) (2)の試験的実施に際しては、相談をはばかり若年層の里親がアクセスしやすいツールを選択できるよう工夫をする。開始は、速やかに。

⑨北海道新聞「まど」に掲載するための里親の取材について 事務局で取材対象者の調整を行い、決定したら取材する記者に連絡する。 ・里親の本名を使う。 ・記事の文章は取材に基づき記者が書き上げる。
⑩「里親フェスタ」の準備状況について ※別紙資料 ・企画書 ・ポスター（作成中）
⑪地区懇談会の開催について 単区あるいは複数区(合同)で開催できる場所を確認したい。2つのブロックに分けて開催することも考えられる。コロナ感染状況によりズーム開催が想定される。
⑫7月のスマイル会が中止になったため、8月17日（火）に開催する。

### 3. 議事

①「札幌市里親促進フォーラム」の開催可否について ※別紙資料 完全オンライン（一方通行のウェビナー／チャット可）で開催したい。広報先は、①民児協 ②大学（先生と学生）③関係機関 ④里親 ⑤賛助会員 ⑥一般市民（HP、ラジオ、里親フェスタでPR）。当日の運営（Zoom操作等）はトラブル等のリスクを考慮し、業者に依頼し当該業者の会議室を使用する。講師とパネリスト1名が来札を希望する場合は了承する。教育文化会館をキャンセルする場合、8月26日までの取消で、前払金13,600円のうち6,800円戻る。 （提案者：三役）	全会一致で了承する。
②日帰りレクの可否について 新型コロナウイルス感染者数が大幅に増加しているため、今年度は中止としたい。 （提案者：三役）	全会一致で了承する。
③会費等規定の改正について・・・第2条を追加したい。(※理事会承認、総会報告) 会費等規定の策定時に、専門里親手当受給者の運営協力金の条文が抜けてしまったので、2021年8月19日付けで改正し、運用は2021年1月に遡って実施したい。 （提案者：組織再編事業WG）  <現状> 第1条（ファミリーホームを運営する正会員の運営協力金） 定款附則6に関わらず、ファミリーホームを運営する正会員については、運営協力金を委託児童1人目2,000円、2人目も同様に2,000円、3人目以降1,000円（委託期間中月額）とする。 <改正で追加する条文> 第2条（専門里親手当の受給者である正会員の運営協力金） 定款附則6に関わらず、専門里親手当を受給する正会員については、運営協力金を専門里親手当受給に該当する委託児童1人目3,000円、同2人目2,000円（委託期間中月額）とする。	全会一致で了承する。
④ 宿泊交流会について 新型コロナウイルス感染の恐れがあるため中止とし、昨年同様クリスマスプレゼントを配布したい。 （提案者：担当役員）	全会一致で了承する。
⑤YouTubeの開設について 里親支援及び里親リクルートを目的としてYouTubeチャンネルの開設を検討したい。毎回(2週間に1回程度)ゲストを迎えて事務局長との対談の様子や役立つ情報を発信する。 （提案者：三役）	全会一致で了承する。
⑥ 里親が里親の相談を受ける体制整備について 現在も適切な支えが得られずに悩みの中にある里親のために、早急な体制整備を求められている。まずは相談訪問支援WGメンバーが体制整備のための試験的初動を担うこととしたい。 （提案者：相談訪問支援WG）	全会一致で了承する。「もう少し全体像が分かる資料があれば…」との意見があり、担当より「将来的に当会の新規事業とするために、企画書を作り理事会に報告提案を行う。若い層の里親が気軽に相談ができるものとするため、メール・LINE等を合わせて使い、早急に受信体制を整備し、相談を受けつける。相談を受ける者の研修など合わせて検討するが、まずは開始することが大事」との回答があった。
⑦地区懇談会の開催について 単区あるいは複数区(合同)で開催できることが確認されたので、開催の具体定方法を協議する。	報告⑩を受けて協議の結果、2021年度の地区懇談会は、2ブロックに分けて、ズーム開催とすることとした。

#### 4. 来月以降の行事

①	9月5日	日	北海道里親研修大会	13:00～16:20	札幌市教育文化会館	※申込受付は終了しています。
②	9月6日	月	おしゃべり会	10:30～12:00		完全ズーム ホスト②
③	9月7日	火	スマイル会	10:30～12:00	プレイルームA	一部ズーム ホスト①
④	9月9日	木	事務局会議	10:30～12:00		
⑤	9月16日	木	理事会	10:30～12:00	大会議室	一部ズーム ホスト①
⑥	10月4日	月	おしゃべり会	10:30～12:00		完全ズーム ホスト②

※当会が ZOOM を利用する場合のホストは現在2つあり、状況により使い分けます。

ホスト	ミーティングID	パスコード
①	686 806 2720	1962
②	947 1862 0912	241001